

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	山形県立加茂水産高等学校
授業者	佐藤 亘 外部講師：升川繁敏（地域史研究者）、佐藤祥子（自治振興会事務局長）

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

地域学習、津波防災・減災教育

#### 1-2. 学年

1 学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な探求の時間（海洋シラバス）

#### 1-4. 単元の概要

##### 地域学習（地域理解）

加茂地区の海洋文化・北前船寄港地・山形県の漁業史を外部講師を招いて学習する。また、地域の方よりガイドしてもらい まち歩き を実施する。加茂地区が北前船寄港地として繁栄し、日本漁業の先駆者と言えるような人物を輩出していることや、地区内の史跡をめぐることで地域について学習する。

地域学習を通して地域の現状を知り、3年生の課題研究でのテーマ設定へつなげられるようにする。

##### 津波防災・減災教育

鶴岡市防災安全課職員を講師に招き、地区のハザードマップを使用して、津波に対応した減災教育を実施した。庄内沖の津波が起こる原因（断層）や阪神淡路大震災・東日本大震災を例に自助・共助・公助についての話など地震・津波から身を守るために学校・自宅での備えについて学習した。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は、県内唯一の水産高校（専門高校）で、地域（地元漁業・水産業等）に貢献できる人材の育成を目指している。そのためには、地域理解のための学習は必修科目と言える。また、時期も入学当初に行うことにより、生徒の視野が広がり、興味・関心をもって専門科目に取り組めるものとする。

山形県庄内沖は、地震の空白域になっている。また、本校は海のすぐ傍に立地しており、地震津波に対する備えは常に行っておかなければならない。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・持続可能な産業（漁業や水産業等）の構築を目指して、自ら学び、地域の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度
- ・地域の課題を捉え、合理的かつ創造的に解決する能力

1-7. 単元の展開（全 5 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂地区の現状 過去と現在と未来</li> <li>・加茂地区の特性 北前船寄港地 日本の漁業発展に貢献した人物 本間孫四郎・菅原常次・尾形六郎兵衛 クイズを交えて質疑</li> </ul>	外部講師 升川繁敏氏 加茂地区は、人口減少・漁獲量の減少が顕著 鶴岡市—ユネスコ食文化創造都市 日本遺産「荒波を超えた男達が紡いだ異空間—北前船寄港地船主集落」に追加認定 漁業の発展—北前船の遺産 なぜ北前船寄港地 なぜ漁業が発展
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂地域を知る「加茂まち歩き」 2 グループに分かれ、加茂地域の史跡や名所などを見学する。地元まち歩きガイドによる、普段入ることのできない神社仏閣の中に入り史跡の説明を受ける。</li> </ul>	外部講師 佐藤祥子 田中正志 佐藤浩之 北前船と加茂についての歴史、その後の漁業のまち加茂について史跡や絵馬を使って説明 加茂に神社や寺が多いのはなぜか 加茂に水族館・水産高校・水産研究所があるのはなぜか
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震津波防災・減災教育 防災と減災・地区防災計画（ハザードマップ） 自助・共助・公助 津波到達時間と津波最高水位・浸水予想図 津波断層モデル 地震・津波災害から身を守るために</li> </ul>	外部講師 鶴岡市防災安全課 菅原 仁 スライドと映像・ハザードマップを使用し、加茂地区の防災計画、津波到達時間・高さ・浸水域について資料（ハザードマップ含む）も使用して学習し、地震津波災害から身を守るために、日頃からの備えと災害が起きた後に必要になってくる行動と順番について学習した。

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

「加茂まち歩き」により加茂地区の歴史に触れ、加茂地区の成り立ちについて学ぶ  
前時に学んだ「加茂地区の現状」「加茂地区の特性」を史跡の見学を通して、まち歩きガイドの方に説明してもらい理解を深める。SDG11 につながるような内容とする。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○前回升川先生の講義内容の確認 加茂地区の歴史の復習</p> <p>加茂地区の特性</p> <p>○2 班に分かれガイドさんの紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・極楽寺（曹洞宗）</li> <li>・春日神社</li> <li>・少林寺（曹洞宗）</li> <li>・岡町川</li> <li>・船印入りの船蔵</li> <li>・秋野邸、尾形家、石名坂邸</li> </ul>	<p>○外部講師 佐藤祥子さんより発問</p> <p>地区内に寺が 9 つもあるのはなぜ？（昔は 10 以上） なぜ北前船寄港地になった？ なぜ漁業が栄えた？ なぜ加茂に水産高校・水族館・水産研究所がある 加茂地区の特性を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は砂浜で、この辺まで海だった。 県の有形文化財 五輪塔</li> <li>・中に入れてもらい、昔の絵馬を使って加茂の歴史について説明してもらおう。（年に 1 回、祭りの時しか一般解放しない）</li> <li>・山門は、船の船柱を板をそのまま使用している。 達磨大師を本尊として安置、本寺は善宝寺。</li> <li>・舟運に使用した川</li> <li>・加茂は蔵（土蔵）のまち 30 軒以上の廻船問屋があり、蔵が立ち並び栄えた 加茂は、舟運交易・北前船・漁業で栄え多くの人が移住してきた。</li> <li>・加茂には、交易や漁業で財をなし、様をつく家が 5 件ある。</li> <li>・加茂地区の歴史や繁栄した時代を理解したか</li> </ul>

### 3. 今回の活動の自己評価

外部講師の講義（スライド・資料・質問）により、加茂地区の歴史について学び、その後「まち歩き」により、史跡を見ながらガイドさんより説明を聞くことにより理解を深めることができた。通学路しか知らなかった生徒が、地域の歴史や地区内を歩き回ること、新たな発見もあり地域理解につながった。

過去（歴史）を学び、現在の状況を知り、今後の地域の活性化について考えることができるようになることを期待している。

2学年で、実習やインターンシップを経験し、更に地域や産業について理解が進み、3年生の課題研究につながっていくものと思う。

### 4. 今後の課題

地域の特性として、ユネスコ食文化創造都市についても取り上げていきたい。今年度は、3月に1・2年生対象に、「ユネスコ食文化創造都市鶴岡の取り組み」と題して、鶴岡市の担当職員から講演を行ってもらった。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

災害に備えた防災・減災対策、ハザードマップは鶴岡市防災安全課による資料。加茂地区パンフは加茂自治振興会からの資料。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。